

平成16年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成16年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成16年12月2日(木)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者14名、委託関係者47名ほか、計70名の参集を得て、除草剤20薬剤(143点)、生

育調節剤4薬剤(30点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成16年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判定	内容
1. AEH-002顆粒水和 イソクサフロリン 10% [ハイエル クロップ サイエ ンス]	ノシハ	適用性 継続	北陸草地環境研 奥武蔵CC 南長野GC 新中国G研 宮崎CC (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.01, 0.015, 0.02g <200-300> ; 土壌処理 ; イソフルメタリン 0.03g<200-300>	実・継	実) [(コライシハ、ノシハ)一年生広葉雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.01~0.02g<200~300mL>。 ・ 土壌処理。
	ノシハ	適用性 継続	北陸草地環境研 奥武蔵CC 南長野GC 新中国G研 宮崎CC (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.005, 0.01, 0.015g<200-300> ; 土壌処理 ; イソフルメタリン 0.03g<200-300>	継	・ 芝生育期、雑草発生前(3葉期 まで)。 ・ 0.01~0.015g<200~300mL>。 ・ 土壌処理。 ・ 低薬量での効果の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
2. BAH-043顆粒水和 新規化合物 71.4% [BASFアグロ]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[広葉雑草(多年生シダクサを除く)] 雑草生育期 (3~5葉期) ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12g <100-200> ; 茎葉処理 ; フロックスラムフロアブル 0.05mL<150-200>	継	継) ・ 効果、薬害の確認。 ・ 成分未公開。
	ノシハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[広葉雑草(多年生シダクサを除く)] 雑草生育期 (3~5葉期) ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12g <100-200> ; 茎葉処理 ; フロックスラムフロアブル 0.05mL<150-200>		
	ケンタッキー フルーグ ラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	[広葉雑草(多年生シダクサを除く)] 雑草生育期 (3~5葉期) ; 0.015, 0.03, 0.06, 0.12g <100-200> ; 茎葉処理 ; フロックスラムフロアブル 0.05mL<150-200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
BAH-043顆粒水和	コウライシ ハ*	適用性 新規	太平洋C美野里C 大阪食とみどり 門司GC (3)	[広葉雑草(多年生ナセリを除く)] 雑草生育期 ; 0.03, 0.045, 0.06g<100-200> ; 茎葉処理 ; フロアスタムフロアプロ 0.05ml<150-200>		
	ノシハ*	適用性 新規	リハ*富士CC 花屋敷GC 西日本G研 (3)	[広葉雑草(多年生ナセリを除く)] 雑草生育期 ; 0.03, 0.045, 0.06g<100-200> ; 茎葉処理 ; フロアスタムフロアプロ 0.05ml<150-200>		
	ケンタッキー フルーグ ラス	適用性 新規	泉パークタウンGC グランドイ那須GC36 那須ナセリ (3)	[広葉雑草(多年生ナセリを除く)] 雑草生育期 ; 0.03, 0.045, 0.06g<100-200> ; 茎葉処理 ; フロアスタムフロアプロ 0.05ml<150-200>		
3. DEH-118顆粒水和 イソキサベン 60% フロアスタム 4% [タウ・ケミカル日本]	ケンタッキー フルーグ ラス	適用性 新規	札幌国際CC 泉パークタウンGC グランドイ那須GC36 那須ナセリ (4)	[広葉雑草] 雑草発生初期 ; 0.03, 0.04, 0.05g<150-200> ; 土壌処理 ; インプロルDF 0.04g<200>	実・ 継	従来通り(ケンタッキーフルーグラスは継続) 実) [(コウライシハ、ノシハ) 広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.03~0.05g<150~200mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ ケンタッキーフルーグラスでの効果、薬害 の確認. ・ 実証試験での確認.
4. DH-023顆粒水和 ベンソレート 30% [日本曹達]	ベントグ ラス	適用性 継続	ブラッサム・テン グランドイ那須GC36 東日本G研 関西G研 (4)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] 雑草発生初期 ; 0.15, 0.2, 0.3g<100-200> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(ベントグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.2~0.3g<100~200mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 低薬量での効果の確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
5. DH-024顆粒水和 フルバキサム 50% [日本曹達]	コウライシ ハ*	適用性 継続	ブラッサム・テン 植調研究所 浜松シーサイトGC 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアプロ 0.5g<200-300>	実・ 継	実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.15~0.3g<200~300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシハ*	適用性 継続	ブラッサム・テン 佐野GC リハ*富士CC 花屋敷GC 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイアップフロアプロ 0.5g<200-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
6. FN-502顆粒水和 カルフェントラゾ・ンエチル 36.5% [石原産業]	ヘントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 宇都宮大学 関西G研 新中国G研 (4)	[コケ類] コケ類生育期 ; 0.03, 0.04, 0.06g 0.03g×2回(10~14日後) 0.03g×3回(10~14日後) <100~200> ; 茎葉処理 ; グラッチェ顆粒水和剤 0.04g<100~200>	実・ 継	従来通り(ヘントグラスは継続) 実) [(コウライハ、ノシハ)一年生広葉雑 草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.015~0.02g<100~200mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ ヘントグラスでのキノコケに対する効 果、薬害の確認. ・ コウライハ、ノシハでの草種と処理時 期について. ・ 倍量薬害試験での確認.
7. FU-176水和 有機銅(8-ヒドロキシキノ ン銅) 80% [アグロカネヨウ]	ヘントグ ラス	適用性 継続	ブラザムカ・テン 東日本G研 奥武蔵CC 浜松・サイト・GC 関西G研 新中国G研 (6)	[コケ類(キノコケ)] コケ類生育期 ; 2.5g 2.5g×2回(再増殖始または14 日後) 2.5g×3回(再増殖始または14 日後) <200~300> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(ヘントグラス)キノコケ] ・ 芝生育期、 キノコケ発生初期~生育期. ・ 10~14日間隔の2~3回処理. ・ 2.5g<200~300mL>. ・ 茎葉処理. [ヘントグラス]藻類 ・ 芝生育期、藻類発生前. ・ 10~14日間隔の2回処理. ・ 2.5g<200~300mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ キノコケに対する効果と処理時期 の確認. ・ 倍量薬害試験での確認.
8. GG-160乳 フタミス 80% [日本クレーンアント・カ テン]	コウライシ ハ	適用性 継続	泉ハークワンGC 植調研究所 浜松・サイト・GC 東広野GC 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.3, 0.45, 0.6ml<250~300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(コウライハ、ノシハ)一年生イネ科 雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.3~0.6ml<250~300mL>. ・ 土壌処理. [(コウライハ、ノシハ)一年生雑草(キ ノコケは除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.6~1.2ml<250~300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ コウライハ、ノシハにおける低薬量 での効果の確認.
9. HCW-001CE chloroprotham (IPC) 50% [保土谷化学工業]	コウライシ ハ (連用)	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[連用薬害] H16春→H16秋→H17春→H17秋 雑草発生初期 ; 0.8ml<200~300> ; 土壌処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験の継続.
	ノシハ (連用)	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H16春→H16秋→H17春→H17秋 雑草発生初期 ; 0.8ml<200~300> ; 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 〔対象雑草；ねらい〕 処理時期 ；薬量g・ml<水量ml>/m ² ；処理方法等	判 定	内 容
HCW-001CE	コウライシ ハ [°]	適用性 新規	東日本G研 佐野GC 東広野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[ス [°] メノカビ [°] ラ] 雑草発生初期 ；0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ；土壌処理 ；ア [°] ン [°] ン液剤 1.0ml<200-300>		
	ノシハ [°]	適用性 新規	ク [°] ランデ [°] イ那須GC36 東日本G研 南長野GC 新中国G研 西日本G研 (5)	[ス [°] メノカビ [°] ラ] 雑草発生初期 ；0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ；土壌処理 ；ア [°] ン [°] ン液剤 1.0ml<200-300>		
10. HOK-9801水和 デ [°] ルクロ [°] ル 50% イソキサ [°] ベン 5% 〔北興化学工業、トクヤ マ〕	ケンタッキー ブ [°] ルグ [°] ラス (連用)	作用性 継続	植調研究所 那須ナ [°] セ [°] リー (2)	[連用薬害] H14秋→H15春→H15秋→H16春 雑草発生前 ；0.4g<200-300> ；土壌処理	実 継	実) [(コウライシハ [°] 、ノシハ [°] 、ケンタッキーブ [°] ルグ [°] ・ラス、ベン [°] トグ [°] ラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2～0.4g<200～300mL>。 ・ 土壌処理。 注) ベン [°] トグ [°] ラスはグ [°] リーンを除く。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
11. HW-013微粒 MCPPナ [°] リウム 3% 〔日本グ [°] リーンアント [°] カ [°] ー デン〕	コウライシ ハ [°]	適用性 継続	東日本G研 大阪食とみどり 新中国G研 西日本G研 (4)	[一年生広葉雑草、ク [°] ロー [°] ハ [°] 、ス [°] ギ [°] ナ] 雑草生育期 ；10, 15, 20g ；茎葉処理 ；MCPP液剤 0.5ml<200>	実 継	実) [(コウライシハ [°]) 一年生広葉雑草、ク [°] ・ロー [°] ハ [°] 、ス [°] ギ [°] ナ] ・ 芝生育期、雑草生育期。 ・ 10～20g。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ ス [°] ギ [°] ナに対する効果の確認。
12. KNW-504顆粒水和 フルフェナ [°] ット 60% 〔呉羽化学工業、ア [°] ク [°] ロ カ [°] ショウ〕	コウライシ ハ [°]	適用性 継続	ブ [°] ラッサムカ [°] ーデン 太平洋C美野里C 埼玉公園緑地 新中国G研 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ；0.075, 0.1g<200-300> ；土壌処理	実 継	実) [(コウライシハ [°]) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.075～0.1g<200～300mL>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 発生初期処理の効果、薬害の確認。 ・ 発生前処理の低薬量での年次変動の確認。 ・ 連用試験での確認。
	コウライシ ハ [°]	適用性 新規	太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] 雑草発生初期 ；0.075, 0.1g<200-300> ；土壌処理		
13. LNS-001顆粒水和 フルメス [°] フロ [°] ン 50% 〔エス [°] デ [°] イー [°] エス [°] ハ [°] イ [°] テッ ク〕	コウライシ ハ [°] (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15秋→H16春→H16秋→H17春 雑草発生初期 ；0.06g<100-200> ；茎葉処理	実 継	実) [(コウライシハ [°] 、ノシハ [°]) 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期。 ・ 0.03～0.06g<100～200mL>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ノシハ [°] (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15秋→H16春→H16秋→H17春 雑草発生初期 ；0.06g<100-200> ；茎葉処理		
	コウライシ ハ [°]	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[多年生広葉雑草] 雑草発生初期 ；0.03, 0.045, 0.06g<100-200> ；茎葉処理 ；イン [°] ブ [°] ー [°] ルDF 0.04g<100-200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
LNS-001顆粒水和	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[多年生広葉雑草] 雑草発生初期 ; 0.03, 0.045, 0.06g<100-200> ; 茎葉処理 ; インフールDF 0.04g<100-200>		
14. NOJ-120顆粒水和 トリフロキシスルフロナトリウム塩 72% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[チガヤ] 雑草生育期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉処理	実・ 継	(チガヤに対する効果は継続) 実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草、ヒメクサ] ・ 芝生育期、雑草発生初期～生育期 (5葉期まで). ・ 0.003～0.006g<150～250mL>. ・ 茎葉兼土壌処理. [(コウライシハ、ノシハ) スズメノヒエ類] ・ 芝生育期、雑草生育期. ・ 0.0045～0.006g <150～200mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ チガヤに対する効果について. ・ スズメノヒエ類に対する低薬量での効果の確認. ・ 倍量薬害試験での確認.
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[チガヤ] 雑草生育期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉処理		
	コウライシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[スズメノヒエ] 雑草生育期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉処理		
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[スズメノヒエ] 雑草生育期 ; 0.003, 0.0045, 0.006g <150-250> ; 茎葉処理		
15. SFC-0401粉 ヒナキ葉粉末 [住友林業]	コウライシハ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 500, 800, 1000g<1000> ; 土壌処理	—	
	ノシハ	作用性 新規	東日本G研 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 500, 800, 1000g<1000> ; 土壌処理		
16. SL-236L乳 フルシネップ P 17.5% [石原産業]	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 西日本G研 (4)	[メリケンカキヤ, (チガヤ等)] 雑草生育期 ; 0.1, 0.15, 0.2ml<100-150> ; 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認. ・ 使用場面について.
17. SYJ-130 (CG-119) 乳 メトラクロール 45% [シンジエンタ ジャパン]	コウライシハ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15春→H15秋→H16春→H16秋 雑草発生前 ; 0.7ml<200-300> ; 土壌処理	実・ 継	従来通り 実) [(コウライシハ、ノシハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前. ・ 0.5～0.7ml<200～300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験の継続.
	ノシハ (連用)	作用性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H15春→H15秋→H16春→H16秋 雑草発生前 ; 0.7ml<200-300> ; 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 〔対象雑草:ねらい〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
18. YS-034粒 ブタミス 1% DCBN 0.5% (N-P-K:18-6-7) 〔ヤマ産業〕	コウライシ ハ (倍量)	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 ; 60, 120g ; 土壌処理	継(継)	・ 効果、薬害の確認。
	コウライシ ハ	適用性 新規	泉バーカウンGC 宇都宮大学 佐野GC 大阪食とみどり 新中国G研 西日本G研 (6)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 40, 50, 60g ; 土壌処理 ; ケアール乳剤 0.9ml<250>		
19. ベンテイメタリンフロア ベンテイメタリン 45% 〔BASF777〕	ハ・ミュー ダ・グラス	適用性 新規	ブラッサム・デー 静岡C浜岡C 花屋敷GC 浜松サイトGC 三河CC 日吉原CC (3)	〔一年生雑草(イ科を除く)〕 雑草発生前 ; 0.4, 0.6, 0.9ml<200-300> ; 土壌処理 ; ケアール水和 0.1g<200-300>	実 継	実) 〔コウライシハ、ノシハ、ハ・ミューダ・グ ・ ス) 一年生雑草(イ科を除く)〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.4~0.9g<200~300mL>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ハ・ミューダ・グラスに対する倍量薬 害試験での確認。 ・ ハ・ミューダ・グラスに対する連用試 験での確認。
20. BS-1粒 ベンテイメタリン 1.1% (N-P-K:16-16-8) 〔エス・ディー・エス ハイオテック〕	コウライシ ハ (倍量)	作用性 新規	ブラッサム・デー 新中国G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 ; 40, 80g ; 土壌処理	継(継)	・ 効果、薬害の確認。
	ノシハ (倍量)	作用性 新規	ブラッサム・デー 新中国G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 ; 40, 80g ; 土壌処理		
	コウライシ ハ	適用性 新規	ブラッサム・デー 新中国G研 西日本G研 (3)	〔一年生雑草(イ科を除く)〕 雑草発生前 ; 20, 40g ; 土壌処理 ; テマックス粒 30g		
	ノシハ	適用性 新規	ブラッサム・デー 新中国G研 西日本G研 (3)	〔一年生雑草(イ科を除く)〕 雑草発生前 ; 20, 40g ; 土壌処理 ; テマックス粒 30g		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
1. CG-186マイクロエマルジョン トリネキサバクエチル 10.4% [シシエンタジヤハン]	コウライシハ [*]	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[草丈抑制による刈込軽減] 芝生育期(生育旺盛期) ; 0.035, 0.05, 0.075ml<50>, 0.035, 0.05, 0.075ml<100> ; 茎葉処理 ; フリモックス液 0.05ml<150-200>	実 継	実) [(コウライシハ、シハ、ヘントグラス、ケンタッキーブルーグラス、パーミュータグラス) 生育抑制効果による刈込み軽減] ・ 芝生育期. ・ コウライシハ [*] ; 0.035~0.075mL <50~100mL>、 0.05~0.1mL <150~250mL>、 ケンタッキーブルーグラス; 0.05~0.15mL <50~100mL>、 0.1~0.2mL <150~250mL>、 シハ [*] ; 0.05~0.1mL <50~250mL>、 ヘントグラス; 0.07~0.14mL <150~250mL>、 0.05~0.075mL <50~100mL>、 パーミュータグラス; 0.07~0.14mL、 <150~250mL>。 ・ 茎葉処理。
	ケンタッキーブルーグラス	適用性 新規	泉パークタウンGC クランティ那須GC36 東日本G研 (3)	[草丈抑制による刈込軽減] 芝生育期(生育旺盛期) ; 0.05, 0.1, 0.15ml<50>, 0.05, 0.1, 0.15ml<100> ; 茎葉処理 ; フリモックス液 0.1ml<150-200>		継) ・ コウライシハ、ケンタッキーブルーグラス、ヘントグラスに対する低薬量、低水量での生育抑制効果の年次変動の確認。
	コウライシハ [*]	適用性 新規	東日本G研 植調研究所 新中国G研 (3)	[芽数増加、根量増加] 芝生育期(生育旺盛期) ; 0.035, 0.05, 0.075mL <100-200> ; 茎葉処理	実 継	実) [(ヘントグラス) 芽数増加、根量増加] ・ 芝生育期. ・ 0.05~0.1mL<100~200mL>。 ・ 茎葉処理。
	ヘントグラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 新中国G研 (3)	[芽数増加、根量増加] 芝生育期(生育旺盛期) ; 0.05, 0.075, 0.1mL <100-200> ; 茎葉処理	継)	・ コウライシハ、ケンタッキーブルーグラスでの効果の確認。
	ケンタッキーブルーグラス	適用性 新規	泉パークタウンGC 東日本G研 那須ナゼリー (3)	[芽数増加、根量増加] 芝生育期(生育旺盛期) ; 0.05, 0.1, 0.15mL <100-200> ; 茎葉処理		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量mL>/m ² ;処理方法等	判定	内 容
2. KUH-833FH707 [®] ル ブ [®] ロベキサ [®] オンカルシウム塩 25% [理研グリーン, クミアイ化 学工業]	ベントグ ラス	適用性 継続	宇都宮大学 静岡浜岡 関西G研 (3)	[草丈抑制による刈込軽減] 芝生育盛期 ; 0.02, 0.04, 0.06mL <100~200> ; 茎葉処理 ; プリマックス液 0.07mL<150~200>	実 継	実) [(コウライシハ [®] 、ノシハ [®] 、ケンタッキー [®] ル ブ [®] ラス、ベントグ [®] ラス)生育抑制効果による 刈込み軽減] (ベントグ [®] ラス) ・ 芝生育期. ・ 0.02~0.06mL<100~200mL>. ・ 茎葉処理. (コウライシハ [®] 、ノシハ [®]) ・ 芝生育期. ・ スポートターフ等刈込み回数の多い 場合:0.04~0.08mL→0.04~ 0.08mL <200mL>. ・ 7、公園、堤とう等刈込み回数の 少ない場合:0.3~0.7mL <200mL>. ・ 茎葉処理. (ケンタッキー [®] ルブ [®] ラス) ・ 芝生育期. ・ 0.04~0.08mL <200mL>. ・ 茎葉処理 継) ・ ケンタッキー [®] ルブ [®] ラスでの水量と効果 の確認. ・ コウライシハ [®] 、ノシハ [®] の低薬量2回処理 における効果の年次変動につい て ・ 実証試験での確認. ・ 翌年の芝に対する影響について.
	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 宇都宮大学 静岡浜岡 関西G研 (4)	[密度向上] 芝生育盛期 ; 0.04, 0.06mL<100~200> ; 茎葉処理	継	継) ・ 効果の確認.
3. KUH-913液 ビ [®] ス [®] リハ [®] クナトリウム塩 3% [理研グリーン, クミアイ化 学工業]	ケンタッキー ブ [®] ルグ [®] ラス	作用性 新規	宇都宮大学 (1)	[ス [®] メノカビ [®] ラに対する出穂抑制及 び密度低減] 芝生育期 ス [®] メノカビ [®] ラ出穂前~ 出穂初期 1ヶ月間隔 2~3回散 布 ; 0.1, 0.2, 0.4mL<100~200> ; 茎葉処理	実 継	従来通り(ケンタッキー [®] ルブ [®] ラスは継続) 実) [(ベントグ [®] ラス)ス [®] メノカビ [®] ラに対す る出穂抑制] ・ 芝生育期、ス [®] メノカビ [®] ラ出穂前. ・ 0.2mL<100~200mL>. ・ 茎葉処理.
	ケンタッキー ブ [®] ルグ [®] ラス	適用性 新規	札幌国際CC 宇都宮大学 鹿児島南農科 (3)	[ス [®] メノカビ [®] ラに対する出穂抑制及 び密度低減] 芝生育期 ス [®] メノカビ [®] ラ出穂前~ 出穂初期(4~7月) ; 0.2mL<100~200> ; 茎葉処理	継	継) ・ ケンタッキー [®] ルブ [®] ラスでの効果、薬害 の確認. ・ ベントグ [®] ラスでの処理時期と薬害の 確認、処理回数と密度低減効果 について.
4. NOK-1液 Enterobacter cloacae No.11-5株培 養ろ液(イントール酢酸 120μg/ml) [EKKアグサイエンス]	コウライシ ハ [®]	適用性 継続	東日本G研 植調研究所 新中国G研 西日本G研 (4)	[張り芝の発根促進] 張り芝直後及びその1週間後 ; 500, 1000, 2000倍<1000>	実 継	実) [根の生育促進] ・ 張り芝直後及びその1週間後. ・ 1000~2000 倍<1000mL>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 処理時期と効果の確認.